

(2) 地震動

ア 揺れの強さ

○駿河トラフ・南海トラフ沿いで海溝型地震が発生した際には、県内全域で大きな地震動が発生し、埋立地の他、海岸線や勾配の緩やかな河川に沿って広がる沖積平野の中の比較的地盤が軟弱な地域を中心に震度7～6強の強く大きな揺れとなる。この強く大きな揺れとなる地域には市街地が形成されているケースが多い。

○山間部は比較的地盤が強固で、震度6弱～5弱となるケースが多い。

(7)レベル1の地震（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）での推定震度

表2 震度区分別面積集計表（県計）

推定震度	7	6強	6弱	5強	5弱	4以下	合計
面積(k m ²)	344.2	2,041.9	3,179.8	1,807.5	291.7	50.9	7,716
割合 (%)	4.5	26.5	41.2	23.4	3.8	0.7	100.0

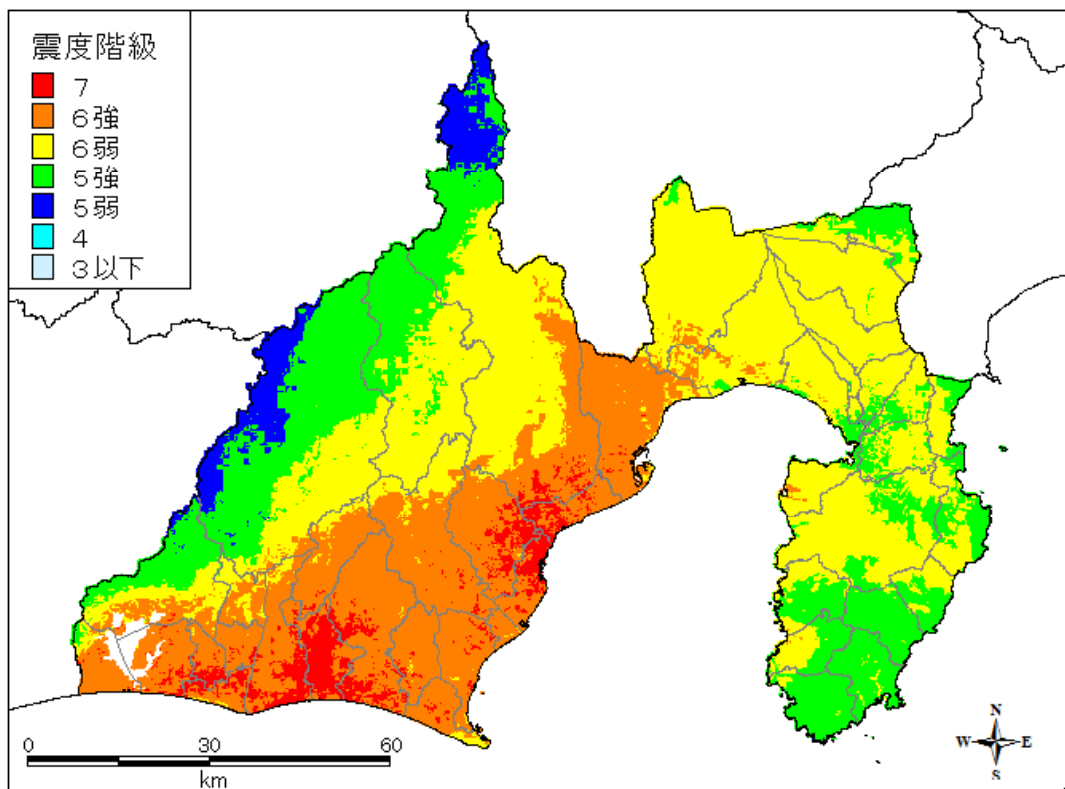


図4 震度分布図（東海・東南海・南海地震）

(注) 内閣府(2012)の南海トラフ巨大地震の基本ケースの強震断層モデルを用いて計算したものの。